



コロナ禍でも、これまでと変わらず
みなさんのもとへ商品をお届けいたします

2021年10月1回より

手数料一部改定のお知らせ

1回のご利用金額が2,000円未満(税込)、またはご利用がない場合の改定です*。

**パルシステムは
生活協同組合「生協」です**

パルシステムは、生活協同組合です。生活協同組合(生協)とは非営利の協同組織で、消費者が互いにたすけあい、より良い暮らしを実現することを目的としています。利用者が出資を払うことで組合員となり、商品注文したり、サービスを受けたりすることができ、さらに組合員が運営に参加することで成り立っています。

パルシステムの連帯のはじまりは1977年。首都圏の小規模な地域生協が協力して「首都圏生活協同組合事業連絡会議」が発足し、共同事業を開始しました。設立当初、組合員へのお届けは個人宅ではなく、3世帯分以上を1か所へ配送する共同購入を前提としていました。



パルシステムは、組合員が出資・利用・運営に参加する生協です。

「手数料」は配達費用の一部負担がはじまり

少子高齢化や女性の社会進出が加速するなど、ライフスタイルが急速に変化した1990年代。パルシステムは全国の生協に先駆け、1世帯1か所へ配送する個人宅配事業を開始しました。組合員一人ひとりに寄り添い、くらし課題を解決するための取り組みです。個人宅への配達にかかる費用増については組合員とともに議論を重ね、一部を組合員に負担してもらうことになりました。これが現在の「パルシステム手数料」です。各種情報提供やシステム利用に関わる手数料として、商品お届けの有無に関わらず発生します。

**物流にかかる費用全般の
増加が続いています**

パルシステム手数料の設定から30年。近年は社会の変化も大きく、配達をめぐる環境も大きく変わりました。配達業務に携わる人員は慢性的に不足し、人員確保のための経費をはじめ、人件費も増え続けています。さらにドライアイスなど物流資材の価格上昇により配達に関連する費用の増加が続き、事業構造が悪化してきています。その結果、30年前に設定した手数料の構造では、安定した事業継続が困難になってきました。

そこでパルシステムでは、2019年度よりパルシステムグループ全体の課題として議論を重ね、利用額に応じた手数料に一部改定する運びとなりました。現在、1回の利用金額が2,000円未満(税込)のお届けについては、パルシステムが配達にかかる費用を持ち出してお届けしています。今後は2,000円未満(税込)のお届けの場合、組合員に配達費用の負担をお願いすることで、中長期を見据えた事業展開、安定的な配達業務に関わる人員確保や、配達業務の負担軽減等をめざしていきます。

**今後も安心してご利用
いただくためにご理解ください**

今回のパルシステム手数料の改定は一律ではありません。ご利用がない場合、またはご利用金額が2,000円未満(税込)の場合の改定です。ご利用金額が2,000円以上(税込)の場合は、現在の手数料と変わりません*。また高齢の方、障がい者手帳をお持ちの方などに適用される減免制度もあります。今後も組合員のみなさんに安心してご利用いただくため、パルシステムの事業を安定して継続していくために、どうぞご理解ください。

*一部生協を除く。